

【概要】

医薬品、生体内分子、生薬成分を化学構造の面からとらえ、薬理作用発現機序、生体内での挙動、生合成経路などについて、生物化学、物理化学的知識をまじえて総合的に理解できることを目的とする。本講義では、「生体分子の化学」、「医薬品化学」および「生薬学」の講義で修得した医薬品のファーマコフォア、生体分子、生薬有効成分に関する知識を総合的にまとめ、その物質科学としての理解度をさらに深める。

医薬品の合成を行うにあたって、これまで学んできた有機化学、合成化学を基礎として、アドバンスとして位置および立体選択的合成、不斉合成、保護基の活用法等、より実践的な手法を学ぶ事を目的とする。さらに合成した医薬品の単離精製の過程で必須となる有機構造分析の応用編として、複数の機器データから、より複雑な化合物の構造を解析する手法を学ぶ。加えて近年、改めてその重要性が注目されている漢方薬の概略を学ぶ。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による